

小学校通常学級において気がかりな姿のある児童が 落ち着いて学習するための支援の工夫 —スマイルメモとあったかサポートの作成と活用を通して—

研究の構想

長期研修員 下谷 真弓



落ち着いて学習に取り組もうとする児童



児童の安心感、満足感、達成感

特性の理解

適切な支援

基本となること



3つの行動特性への支援

あったかサポート

《教室環境》

- 5Sを心がける
整理・整頓・整然・清掃・清潔
- 掲示はシンプルに
わかりやすく
- 音間は一見にせず
置く場所などに目印をつける
- 机の配置
- 椅子と机の高さ・座り方
(グー・ピカ・ピーン)

《仲間意識》
～こんなことを教えよう～

- みんながってみんない
- 十人十色
- どうぞ(ゆずり合いの心)
- ありがとう(感謝の心)
- ごめんね(素直な心)
- あいさつ・返事を大切に
教師がモデルになる

《気持ち》

- ホッとする優しい言葉
意識的にかける
- 称賛
名前を呼ぶ いいね Vサイン OKサイン 笑顔
- 評価は肯定的に
- 注意をするなら
短く具体的に
(抽象的な言葉はわかりづらい)
- 不安を取り除く

《授業》

- 見通し(45分の流れを示す)
- 板書は見やすく
ポイントを示す
- 視覚支援の活用
- 説明は短く、わかりやすく
身振り手振りを添えて
- 板書での発表
(子どもの活躍の場の1つ)
- 開始と終了の時刻を守る

あったかサポート

A 不注意

- ・目標は活動がわかりやすいものに
- ・ごまかさない
- ・45分の授業を短いユニットに
- ・導入にひと工夫で引きつける
- ・ノートを使い方を指導する

B 多動性

- ・同一教科の流れを一定に
- ・45分を90秒の単位に
- ・授業の始まりを意識させる
- ・授業の活用を多くする
- ・授業前後のふらつきを減らす

C 衝動性

- ・同じ教科の授業の流れを
- ・ある程度パターン化する
- ・わからない時のルールを教える
- ・活動時間を具体的に示す
- ・大切な指示は文字で示す
- ・静かな時間を確保する

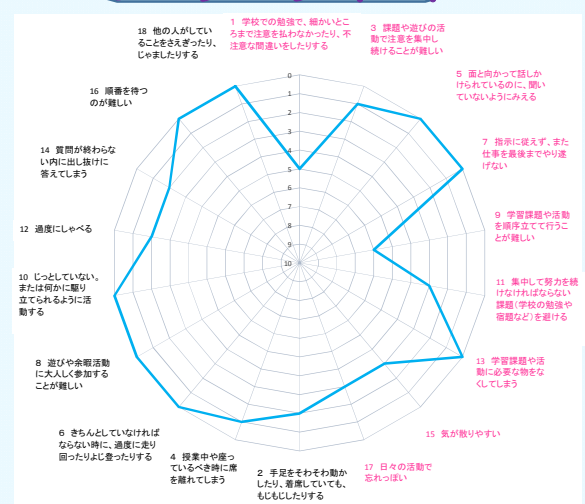
学級全体の児童の実態把握

スマイルメモ

チェックシート				
	(人)			
	a	b	c	d
1 学校での勉強で、細かいところまで注意を払わなかったり、不注意な間違いをしつたりする				
2 手足をそわそわ動かしたり、着席していても、もじもじしたりする				
3 課題や遊びの活動で注意を集中し続けることが難しい				
4 授業中や座っているべき時に席を離れてしまう				
5 面と向かって話しかけられているのに、聞いていないようにみえる				

3つの行動特性 18項目
(不注意・多動性・衝動性)

レーダーチャート



児童の困り感

- ・どうしても自分だけできないの
- ・注意されてばかりだな
- 自信、意欲の低下

教師の困り感

- ・安心して学習できるようにしたい
- ・どんな支援をしたらよいのだろう
- 指導、支援への不安

あったかサポート

実践 4年算数

基本

学習の流れを示す

集中できない

- 1 教室前面の掲示物に配慮する
- 2 窓側を避けて前列の席にする
- 3 活動の始めと終わりをはっきり示す
- 4 刺激を使って注目させる
- 5 導入でフラッシュカードなどを使ってテンポをつかむ
- 6 全体指示の後、個別に指示をする
- 7 休憩を入れながら短いスパンでの課題を組み立てる
- 8 問題量、活動量を調整する
- 9 丸付けは持ってくるように促す
- 10 学習形態の工夫
- 11 問題や解答は1枚1問で見直しをもつ

- ①「注目する」サインを決めておき伝える
- ②集中が切れてきても混ざらない
- ③やることがわからないようなら教える
- ④児童・生徒自身がお手本になる

3.5.11.15

A 不注意

- ・目標は活動がわかりやすいものに
- ・こまめな声かけ
- ・45分の授業を短いユニットに
- ・導入にひと工夫で引きつける
- ・ノートを使い方を指導する

1.7.9

ミスが多い

- 12 教師に注目させてから指示を出す
- 13 目標はわかりやすく明確にする
- 14 指示が聞けているか確認する
- 15 指示を視覚でも確認する
- 16 机間巡視で、個別に指導をする
- 17 学習のめあてや取組の手順がわかるワークシートを活用
- 18 ノートの使い方を指導する
- 19 児童のノートと同じマス目黒板や用紙を使用する
- 20 個人にわかりやすい説明をする

- ⑤具体的にわかる言葉で伝える
ちゃん× ていねいに×
はっきり× しっかり×
ちょっと× どう？×
⑥なるべく短く伝える
⑦声かけを心がける

忘れ物落とし物多い

- 21 貸し出し用の教材や文房具類を用意する
- 22 持ち物に記名(鉛筆は2～3本にする)
- 23 配布物はチャック付きファイルで管理(2枚以内)
- 24 落とし物を入れる専用のボックスを用意する
- 25 持ち物チェックシートや付箋紙を活用する
- 26 朝、1日の予定と授業の内容を確認する
- 27 荷物はあるべくまとめて持つ

13.17

- 28 道具の出し入れが簡単にできる工夫
- 29 クリーンタイムを1日数回実施
- 30 片付け方などを絵や写真で示す
- 31 フィニッシュボックスの利用
- 32 お助け隊で片付けの練習をする
- 33 全員持っている小物は牛乳パックをくっつけて一緒に収納

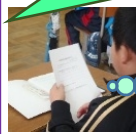
- ⑧お助け隊で片付けの手助けをする
- ⑨クリーン隊でお手本を見せる
- ⑩教師が準備しておいた片付け方の絵や写真を示す

13

整理整頓苦手

- * □はチェックシートの番号
- * 数字は教師から個への支援 丸数字は周りの児童から個へのサポート

- 今日やること
- 1 かけ算
 - 2 調査タイム
 - 3 考えタイム
 - 4 話し合う
 - 5 チャレンジ



今、2番だね

基本

黒板での発表(活躍の場)



同じ意見だよ

A-5

フラッシュカードで気持ちづくり



わかる？
できる？

よし
頑張るぞ

A-10 A-③

学習形態の工夫



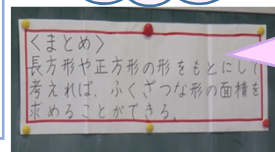
友だちとならできるよ



どう考えた？

A-19

ノートのマスに合わせて板書



担任

- ・適切な支援を考えやすくなった。
- ・児童の学習意欲が高まり、指導への自信につながった。

成果

- ☆レーダーチャートは学級全体の傾向や必要な支援の把握に有効であった。
- ☆不注意への支援等が児童の学習意欲の向上につながった。

課題

- ★あったかサポートの支援内容の充実
- ★他教科での実践

提言

より丁寧に実態を把握し、行動特性に応じた支援をすることで学習指導の充実を図りましょう。